

私の美術鑑賞ノート

絵葉書を貼る

美術館:

展覧会: 没後 120 年ゴッホ展

- こうして私はゴッホになった -

日 付: 年 月 日

名 前:

ゴッホについて

名まえ				生まれた国	
生まれた日	年	月	日	しんだ日	年 月 日 (才)
かぞく	<p>お父さんとおじいさんのしごとは何ですか?</p> <p>おじさんやいとこはどのようなしごとをしていましたか?</p> <p>きょうだいはいましたか? きょうだいとなかよしでしたか?</p>				
せいかく かんがえ	<p>ゴッホはどんな人でしたか? あなたはゴッホと友だちになりたいですか?</p> <p>ゴッホはまずしい人を見てどうしましたか?</p> <p>画家(がか=絵をかく人)になったゴッホはどんなゆめをもっていましたか?</p>				
ゴッホのしごと	<p>画家になるまでゴッホはどんなしごとをしていましたか? なぜしごとをやめたのですか?</p>				
画家として	<p>なんさいで画家になりましたか? なんねんぐらい画家をやっていましたか?</p> <p>生きているあいだになんまいぐらい絵をかきましたか?</p> <p>生きているあいだに売れた絵はなんまいですか?</p> <p>ゴッホのせいかつはだれがささえていましたか?</p> <p>ゴッホのしんだあと絵はうれえましたか?</p>				
メモ					

没後 120 年 ゴッホ展

－ こうして私はゴッホになった －

第一章: 伝統 -ファン・ゴッホに対する最初期の影響

ゴッホは、16 さいのとき、おじさんのおみせで絵をうるしごとをはじめたので、ゆうめいな画家たちの絵をよく知っていました。絵をかきはじめてゴッホはまずゆうめいな人の絵をまねました。

1 番の絵と 3 番よりあとの絵をみてみましょう。ゴッホの絵はどんなところをまねしていますか？

かいているもの	
色	
かきかた	
かいているばしょ	

第二章: 若き芸術家の誕生

ゴッホには画家のいところがいたので、その人からも絵をならいました。また、じぶんでもゆうめいな画家の版画(はんが)やデッサンをまねして絵のれんしゅうをしました。本やざっし、いろいろなどうぐをあつめて上手に絵をかけるようくふうをしました。

ゴッホは絵が上手になるためにどんなくふやどりよくをしましたか。

第三章: 色彩理論と人体の研究、ニューネン

30 さいになったゴッホはお父さんとお母さんが住むオランダのニューネンにひっこしました。デッサンは上手になったので、こんどは油絵(あぶらえ)をかくことにしました。画家のドラクロワの色づかいを学び、ドラクロワのまねをして人をかくれんしゅうをしました。

ゴッホは弟のテオに「《じゃがいもを食べる人々》が今までで一番上手にかけた」と手紙をおくりました。ゴッホはまずしいのうみんが、じぶんたちの手ではたけでじゃがいもをつくり、それをとってたべて、まじめにくらしているようすをかきたかったのです。

《じゃがいもを食べる人々》の絵からどんなことがわかりますか。ひと、色、ものなどをヒントにかんがえましょう。

例) ゴツゴツした手	のうみんがいっしょうけんめいはたらいしているようすがわかる

第四章: パリのモダニズム

1886 年 33 さいになったゴッホは弟テオのいるパリにひっこし、弟とくらしはじめました。おとうとおじさんのおみせで絵をうるしごとをしていたので、テオは、お兄さんのゴッホにパリであたらしいことをやっている芸術家(げいじゅつか)たちをしょうかいしました。ゴッホは印象派(いんしょうは)とよばれるあたらしい絵のかきかたをする人たちと友だちになりました。

パリでゴッホはどんな人と友だちになりましたか。

--

ゴッホは友だちの絵のかきかたをまねしてみました。どんなことをしましたか?

	あたらしいかきかた	いままでのかきかた
色のつかいかた		
絵のぐのつかいかた		
絵のかきかた		

第五章: 真のモダンアーティストの誕生、アルル

1888年 35 さいになったゴッホはフランスの南のほうにあるアルルという町にひっこします。日本が大すきなゴッホはあかるいアルルにいと「日本にきたよな気がする」といきました。

アルルでゴッホは今までのよように人のまねをするのではなく、じぶんらしい絵をかきはじめます。だれの絵にもにいてないゴッホだけの絵です。だれが見てもゴッホがかいたとわかる絵です。ゴッホはアルルで 190 まいもの絵をかきました。

どんなところがほかの人とちがってゴッホらしいかきかたですか？

ゴッホのかきかた	ふつうのかきかた

ゴッホはパリではやっていた日本の浮世絵(うきよえ)をみてゴッホも日本が大すきになりました。日本の絵はがいこくの絵とくらべてどんなところがちがいますか。

--

ゴッホはアルルで画家の友だちといっしょにくらしたいとおもっていましたが、きたのはなかよしのゴーギャンだけでした。ゴッホはゴーギャンが来るのをとてまたのしみにしていましたが二人は大ゲンカをしてしまいます。ショックでゴッホは心のびょうきになってしまいました。

第六章: さらなる探求と様式の展開 サン=レミとオーヴェール=シュル=オワーズ

ゴーギャンと大ゲンカをしたゴッホはアルルのちかくサン=レミにある精神病院(せいしんびょういん)ににゆういんし、元気なときは絵をかきました。しばらくして弟テオにすすめられてガツシュはかせというおいしやさんにびょうきをみてもらうためにパリのちかくのオーヴェール=シュル=オワーズへひっこします。オーヴェール=シュル=オワーズへうつってからひっこしてから70日ぐらいでゴッホはしてしんでしまいます。でもその70日間に70まいいじょうものたくさんの絵をかきました。じぶんらしいかきかたを見つけたゴッホは、じぶんのかき方でどんだんいろいろなものをかきました。あなたはどの絵が一番好きですか。好きな絵をよくみてみましょう。

絵のたいめい	
すきなところ	
なにがかいてありますか	
なにいろがおおく つかわれていますか	
ゴッホらしいところ	

ゴッホは弟のテオにせいかつのためのお金をもらっていました。ゴッホの絵は1まいしかうれなかつたので、テオのくらしもくるしくなっていました。ゴッホはテオとかぞくがまずしくなつてしまったことを気にして、じさつしたといわれています。ゴッホがしんでしばらくすると、弟のテオもしんでしまいました。そのご、ゴッホの絵はテオのおくさんのヨハンナとむすこのフィンセント(ゴッホとおなじ名まえです)のおかげでうれるようになりました。ゴッホの絵はいまではせかいのゆうめいな美術館(びじゅつかん)にかざられて、おおくの人がゴッホの絵をみにやってきます。

ゴッホ関連絵本

- ゴッホとゴーギャン (おはなし名画シリーズ)
- ゴッホ 太陽を愛した「ひまわり」の画家 (小学館版学習まんが人物館)
- もっと知りたいゴッホー生涯と作品 (アート・ビギナーズ・コレクション) [指導者用]

美術館での3つのおやくそく

歩く・見るだけ・ひそひそ話す

～ 環優舎 ～